

# 花屋敷 笑顔だよい

第18号

発行／社会福祉法人聖隸福祉事業団 花屋敷せいれいの里 2007年10月発行  
〒665-0808 兵庫県宝塚市切畠字長尾山5-321 TEL.072-740-3388 / FAX.072-740-3980

たこ焼きにとばめし  
アイスにプリン 光るおもちゃ屋やスマートボールまで

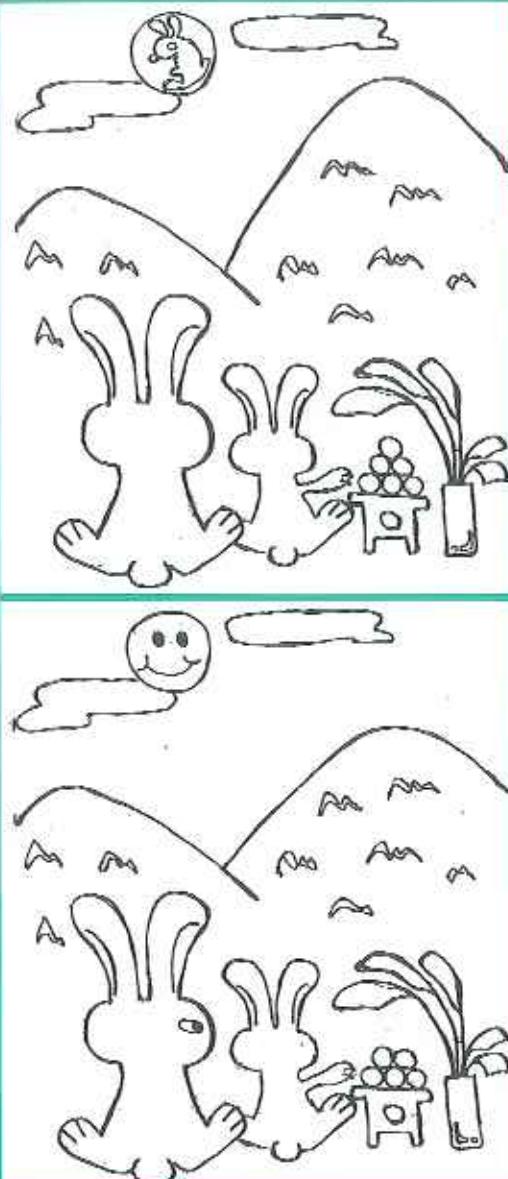
今年も花屋敷せいれいの里では7月21日に納涼祭を開催しました。  
梅雨明けが遅れ納涼祭当日は雨の予報でした・・・。  
しかし、雨は降らず、にぎやかに盛大に行う事ができました。

踊りには『日本民謡の会』太鼓は『和太鼓の会輝』本当にありがとうございました。

- 地域と共に
- 1、福祉人材養成講座  
「いきいき老人をつくる」
- 2、生涯学習（法律・福祉体験・趣味他）
- 3、施設見学・試食会・福祉部会との交流会  
会場 花屋敷せいれいの里  
(9月19日・11月15日)
- 4、車椅子体験・福祉相談コーナー  
(10月21日)
- 住民の方々と共に活動し、地域に根ざした福祉の一員を担って参りたいと、地元の職員も新たに加わり、バイブルを強め、目標の活動を実践しようと頑張っておりますので、その一部を紹介致します。
- 常任委員会・福祉部会・各種行事等にできる限り参加する事を基本にしつつ、今年度は、地元職員パワーにより、新しく以下の活動を計画しております。
- （地域福祉サービスの充実をめざして）  
地域と施設の共催による企画会場 花屋敷せいれいの里  
(10月21日)
- コミュニティひばり地区は、地域の方々のパワーにより、新たなふれあい・支えあいの活動が生まれています。

ケアハウス花屋敷園長 千葉 等  
地域交流推進委員会 千葉 等

## 5つのまちがい探し



4. たまご 5. ねこの耳 1. 目の中 2. お山の頂 3. 猫とお魚の目  
5. おとこ

～訂正とお詫び～ 16号にて下記の誤りがありました。  
P6 利用者の方々の作品  
住田 秀子（誤）→位田 秀子（正）  
訂正をもってお詫び申し上げます。

入居者・利用者の方々の作品

母もあり友も在る家（ケアハウス）  
心静かな暮らしや楽し  
小坂 恒子

天空に星が煌めく生き子の魂  
いづこ許せ母の涙を  
美田 美穂子

階からわたしの年がうばわれる  
地震 雷 火事 中国  
澤田 幸枝

古布となる ゆかた身に添ふ 余生かな  
岩崎 照子

高粱のサイロはるかに秋の風  
夏空にゆつたり浮かびしいわし雲  
空を眺めて待ちわびる秋  
吉村 美奈子

こわいもの 地震 雷 火事 中国  
酒井 敏子



## 編集後記

広報委員会

・そうめんのプールで泳ぎたい（N）

・読書の秋、食欲の秋です。本を読む時間はなくとも、食べる時間はしっかりとっているという・・・心配です！（N）

・食欲の秋・・・いくら食べても太らない  
ギャル曾根や三宅智子になりたい（F）

・もしも生まれかわれるなら  
ピーバーになってダムを作りたい・・・（N）

次号は平成20年1月発行予定です。



## 8月4日(土) 満願寺 夏祭り

ワッショイ!

今年も元気よく  
子供みこしが  
ケアハウスを  
朝9時に出発しました!



ワッショイ!



おもちや

満願寺での縁日では  
せいれいの里として  
おもちゃ屋を出店し  
地域の方とのふれ合いを  
楽しみました。

## 芸術の秋です。絵画を楽しんでみませんか?

宝塚市社会福祉協議会を通じて、  
画家の津田洋先生より絵画をいただきました。  
特養1Fに48種類の墨絵を巨大なパネルに入れて飾っています。又、ケアハウスの食堂に食材をテーマに描いた作品(24枚)も季節毎に飾っています。  
機会があれば、ぜひご覧下さい。



## テグー 里親見つかりました!

有難うございます。  
早く家族の一員になれるといいな♪



## ボランティアありがとうございました

●ボランティア記録より 平成19年5月~8月●

(個人)

神座 カオル/浦 千代子/河田 強/山中幹雄/横田 由利子  
島端 重夫/澤 美知/福持 裕子/鎌野 善三/松村 直子/眞鍋 恒一/眞鍋 マスミ

(団体)

コミュニティひばり/車椅子レクダンス普及会 宝塚支部/銀鈴会/タクソミックの会  
ありのままグループ/朗読の会 ほのぼの/おしゃれクラブ/宝塚演奏家連盟  
カナリヤの会/そよ風会/宝塚シニアマジッククラブ/アンサンブル紫音/喫茶ひばり

※写真掲載に関しましてご本人・ご家族の承諾を得ています。

8月4日(土) 満願寺 夏祭り

## 食べ物の旬ってなに?

食事サービス課 三井

もともと、旬とは「10日間」の期間を意味し「上旬」「中旬」「下旬」というように使われ、旬の盛りの味はアッという間に終わってしまうものでした。春夏秋冬の四季をもつ日本では、季節に生まれた食べ物を「旬のもの」と呼び、最も新鮮な時期であり、また価格も安くなるという私たちにとって、とても嬉しい時期で市場に豊富に出回り、私たちの食卓を彩っていました。

当た前に旬の食べ物を食べていた暮らしに変化が出てきたのは1970年代以降で、魚介類の乱獲や地球温暖化による異常気象、冷凍技術の発達やハウス栽培など農業技術の進歩、そして輸送手段の高速化などにより、食材が一年中市場に溢れる状況が生まれ、次第に「旬」の時期が分かりにくくなりました。

旬の時期が不透明になる一方で、旬のものを食べたいという消費者ニーズが高まり、それを受けて1999年4月、農林水産省は「旬の野菜定義」=「消費者が住んでいるそれぞれの地域の自然の中で、適期に適地で無理なく、食べごろに生産されたものであり、新鮮で、栄養分があつて安全でおいしいもの」を発表しました。

私たち花屋敷の食事サービス課では、そんな旬を感じられるお食事を提供します。お楽しみに!

参考文献: 食コラム

## 花屋敷栄光園 (特養)

今日のメニューは…

芋あんとあんこの合わせ巻き



みなさんおいしそうに  
食べてました♪

## 8月26日 日曜日 お昼から花ユニットでおやつレク!



## デイサービス



今年の夏祭りは、射的・スマートボールなどの屋台をはじめ、メインのカラオケ大会では、日替わりで職員が仮装し、会場は大きな笑いに包まれました。

## ケアハウス



## 8月20日 月曜日 夕涼み会

夕方6時よりロビーにて「夕涼み会」を開催!  
今年は雰囲気作りに、手作りちゅうちんをロビー全体に飾りミラーボールも一役かって、カラオケも大いに盛り上りました。



入居者の方も50名近く参加され、  
8時頃には玄関前で花火も楽しまれました。